

## 地域連携のお知らせ

### [地域健康教室]

11月13日(土)に石川治医師より、「最近の医療情勢について」お話をありました。政治の話から身近な問題まで、なるほどというお話をでした。

### <次の予定>

1月8日(土)13時から、石川病院東館6階にて、「ジェネリック薬品について」と題して当院の薬剤師が講演いたします。多数の参加をお待ちしております。

### [ボランティア報告]

去る11月11日(木)に安井夫婦による太鼓と詩吟の演奏会がありました。八丈島太鼓の躍動感溢れる素晴らしい響きに参加者の皆様も大変喜ばれました。



### [院内接遇研修]

#### 接遇研修を実施しました。

10月5日(火)に元キャビンアテンダント福田素子講師をお招きして、「ビジネスマナーを見直し自分自身の魅力を仕事に活かそう。」というテーマでお話をいただきました。

- ①朝活き活きと起きていますか？
- ②挨拶はきちんと出来ていますか？
- ③自分は人に良い印象をもたれていますか？
- ④人の気持ちを察し、思いやる事が出来ますか？
- ⑤どのようにしたらうまく仕事ができるか工夫する方ですか？

など20項目を参加者に問いかけながら、誇りある生き方と具体的な言葉かけの実践を終始素敵なお笑顔で紹介されました。

今後、日々の生活の中で心がけ、魅力ある人になつて行きたいと思います。



石川病院外来診察時間表 平成22年10月1日～													
内科		外科		整形		脳外		耳鼻咽喉		泌尿器		リハビリ科	ペインクリニック
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前			
受付 7～12	3～5時半 12～1	7～12	3～7	7～12	3～6	2～4	予約制			9～11:30	予約制	予約制	
診察 9～12		9～12	3～7	9～12	4～6		10～12	1～4	10～12時半	2～4	9:30～		
月 金曜	小山	内田	今脇 6時	山本 本館	山本 南館	安藤 平田総 予約診 膝関節外来	藤田 初診 受付 11～ 12時			石川智			
火 小山	加古	中島	平田	照喜納 本館	安藤 予約診 3～5時 学生診受付 4～5時 診察5～6時			佐地	佐地		寺本 予約 10～12時		
水 金曜	加古	中島	今脇 6時	戸田 本館				佐地		石川智			
木 金曜	高旗 予約制	岡大	岡大 6時	戸田 本館	戸田 本館	藤田				寺本 予約 15～17時			
金 加古	小山	石川	今脇	戸田 本館	受付3時～5時半 診察3時～6時	初診 受付 11～ 12時					大城 予約14時～		
土 日下 (隔週)		岡大	岡大	平田 総	石川齊 隔週			第1・3 佐地	第1・3 佐地	担当医			

# せせらぎ通信

[第36号]

[2011年1月1日発行]

〒671-0221 姫路市別所町別所2丁目150  
TEL(079)252-5235 石川病院 広報委員会  
発行責任者 事務長 三枝孝弘

地域のために 思いやりと  
信頼性の高い 治療・看護を目指す

### 平成23年新年挨拶



理事長 石川誠

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。今年は、運営方針3ヶ年計画の仕上げの年であります。

3月からは新館病棟での執務がスタートします。これまで以上に気持ちを引き締めて自らの課題に積極的に取り組んでまいります。

平成23年も世界同時不況に端を発し、日本全体が出口の見えない閉塞感の中で医療業界を取り巻く環境も非常に厳しくなっており昨年以上にきめ細かな対応が要求されます。しかし、逆境をチャンスと考え、

各自が与えられた役割と責任を果すことを基本に、一人ひとりが仕事に対して日頃から「努力と工夫」が習慣となり、みんなで心を一つにしてこの難局に立ち向かう覚悟が必要であります。事故のない明るい職場をめざして、職員一人ひとりが厳しい現状を認識し、本年の業務運営方針に掲げた目標に向かって院長を芯に全員が果敢に挑戦していく所存でございます。

さて、平成23年の干支(イ)は、(辛(シ)・卯(オ))、「かのと・う」であり、俗にいう「うさぎ」年であります。この「辛 卯」の年は干支では何を教えているか?

まず干の「辛」は辛の初義は入れ墨に用いる針のことで、「しん」のほかに「はり」「からい」と読み、「つらい」「苦しい」「耐え難い」「むごい」という意味をもっており、殺傷をともなう、といった解釈もあります。特に規律を正し、基本を踏まえて、筋道を立て、困難に遇っても断固として実行してゆく、又、覚悟を新たに自律自訴、更新することを意味しており、これを怠ると、「からい目」「つらい目」にあうという事になり、不祥事件が起こって来ることも、「辛」の字義は暗示しております。「卯」は兎ではなく、「いばら」や「かや」という文字であります。繁茂した茨や茅がからまり、もつれるように根がはびこれば、手のつけようがなく、動きのとれないようになるもので順次思い切って剪定します。

そこで筋道を立てて物事を処理していくことを云い、それが出来ないと、紛糾、混乱、分裂、破壊へと連なることを意味しております。

従って辛卯の干支が教える所は、筋道を立てて、家庭内問題、職場の問題、人間関係等を処理よろしきを得れば、伸展、繁栄につながる事を意味しております。

昨年同様、皆様方のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とします。

## 平成23年、院長年頭所信表明



皆さん、新年明けましておめでとうございます。本年も皆様のご健勝  
ご活躍を祈念申し上げます。

年頭にあたり、本年の取り組み方針を表明させて頂きます。

昨年のスローガン、「起こそう改革、示そう誠意、笑顔の医療で地域に貢献」1年間活動して頂きました。

23年のスローガン「温かい笑顔と態度で築こう信頼、チーム医療で地域に貢献」に相応しい活動と実績を残すためにも、22年の活動の評価と、反省を行い昨年と同じ方針のもとに、ステップからジャンプと3カ年の仕上げの年であります。より一層仕事の品質レベルを高めて頂きたい。

### 1. P D C Aを廻し確実に仕事の質を高めよう！

問題は何かを掴む体質を身につけ、一人ひとりの医療安全意識を高め、事故、災害ゼロをめざす。

### 2. 計画を重視する体質を身につけ、トラブルや問題が起こらないよう計画に基づき、着実に日常業務をこなし、トラブル防止と、予知能力を高める。

### 3. プロセスを重視する体質を身につけ、業務を進めてきた過程の「良さ」、「悪さ」を適切に評価することを習慣化し、日々の変化に迅速に対応する。

### 4. 重点指向する体質を身につけ、今一番重要なことは何か、限られた資源と費用を使って院内目標を果たす上で、多くの問題の中から何が重要で、優先課題は何であるのかを考え、果敢に挑戦するIJK活動に変革しよう！

### 5. 全員がシステム指向する体質を身につけ、IT技術の積極的活用と全員が互いに有機的に協力して、医療環境の更なる改善と自己啓発の推進。

## 【放射線室からのお知らせ】

従来より使用しておりましたCT装置GE Light speed 16を、平成22年8月末よりからGE OPTIMA 660に更新しました。マルチスライス数が16列から64列になり撮影時間も飛躍的に向上しました。スライス厚1mm未満/0.4秒スキャンで、小児全身50cmを4秒撮影可能です。ASiR搭載により、従来のような大容量X線管を搭載することなく、高速、高画質、低被ばくを両立し、その被ばく削減効果は公称値で40%\*とされています。

画像処理の効率化の為に、Advantage WorkstationもVolumeShare4に更新いたしました。

他院からの検査依頼も、受けさせていただきますので、宜しくお願ひ致します。

放射線科TEL (079)251-2350  
FAX (079)252-2548



ASiR：診断画像の構造を保ちながら画像内のノイズを低減させるために設計された再構成法です。  
ASiRを使用することで一部の検査では、画像のノイズレベルを保ちながらX線量を最大50%まで抑えることができる場合があります。



## トピックス

### 地域のニーズにお応えする リハビリテーションサービスの提供を目指して

当院の新しいリハビリテーションサービスについてお知らせいたします。

昨年4月に健康保険の診療報酬改定で「休日リハビリテーション提供体制加算」という項目が新たに加えられました。

これは、日曜日や祝祭日にも平日と変わらないリハビリテーションサービスが提供できる体制を整えている医療機関を評価する制度です。

当院は、9月1日よりこの体制を整え、入院患者様に対して日曜日や祝祭日においても平日と同様に対応しております。1年365日リハビリテーションサービスを提供することが可能になりました。

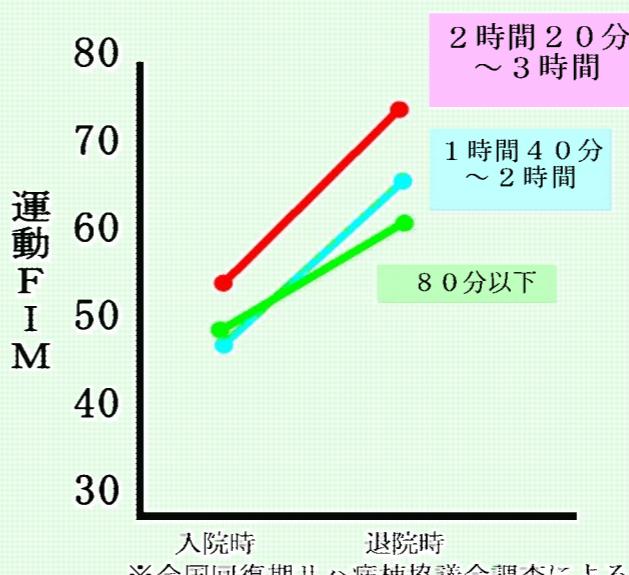
一般的に、リハビリテーションは「休まずに、集中的連続的に行うことが効果的」とされています。患者様にとっては日曜日や祝祭日に関係なく、リハビリテーションサービスが受けられる方がよいということです。

また、下記の図表にありますように入院当初から多くの時間をかけてリハビリテーションを集中的に行うとより改善度が高いということが、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の調査でも明らかになっています。

当院では、理学療法士32名、作業療法士22名、言語聴覚士8名の体制で、医師の指示、指導の下、看護部門と連携し、患者様の日常生活活動の改善を目指し、集中的によりよいリハビリテーションサービスの提供を心掛けて参ります。

※患者様の体調などでリハビリテーションをお休みとする場合もありますことをご承知下さい。

### 訓練時間による改善の違い



※全国回復期リハ病棟協議会調査による



早くから多くの量のリハビリを集中的に行うとより改善度が高いことがわかります。

### 運動FIM

歩行、食事、トイレなど、13項目を自立の度合いによって点数化したもので、満点が91点です。